

67歳-New Zealand で夢を実現



ビジネス英語のリー先生と日本人スタッフ Makiko さんと

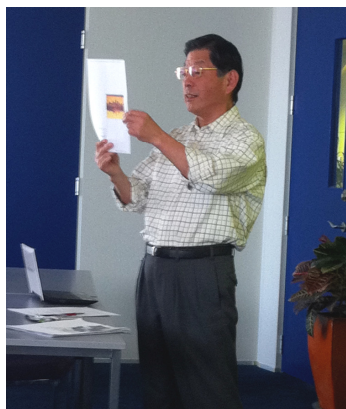
65歳で仕事からリタイヤし、何か空白のような時間ができ、家内の方より “そろそろ夢を実現したら？”と言われたのが始まりでした。私は海外旅行が好きで、多くの外国を旅行しましたが、常々、ニュージーランドは最後にとっておきたい、またニュージーランドに行った際は長期滞在をしたいと思っておりました。せっかく長期滞在をするのであれば好きな英語も勉強しようということになりました。

NZLC では授業だけではなく、空港でのお出迎え、保険、ホームステイ、アクティビティーなど全て手配してくれるので、とにかく行けばよいのだと分かり意を強くすることが出来ました。学校のはからいで、私がゴルフ好きということもあり、家族全員がゴルフが趣味という家庭を手配していただき、また同年代のご夫婦の家庭ということで、驚いたとともに、大変しみな感じになってきました。

オークランドに到着し、お出迎えの人が段取り良くホームステイ先まで送り届けてくれました。土曜日に到着したので、週末はホームステイの方が近隣や家から学校までの交通を教えてくださいました。ニュージーランドは人口密度が日本の30分の1で、ほとんどのお家が300坪以上ありました。インターネット環境が整っていて、ホームステイでも学校でも自分のPCを使用できたので、毎日家内とインターネットを使って無料通話をすることが出来ましたので、日本のことも問題なく処理することができました。便利な時代になったことを痛感いたしました。

学校初日の月曜日、オリエンテーションとクラス分けテストを行いました。オリエンテーションでは学校付近の銀行やショッピングセンター、郵便局など、学校のスタッフの人が一緒に歩いて説明してくれました。午後から、早速一般英語コースに入りましたが、実に多くの国から生徒が来ており、韓国、台湾、タイ、サウジアラビア、ブラジル、エクアドル、ドイツ、スイス、トルコ、ロシアからの学生と一緒に勉強をしました。みな国語は違いますが、英語を使えば誰でも石を通鶴事が出来る、これは素晴らしいことだということに改めて実感した次第です。一般英語で自然なスピードで英語の聞き取りができるようになり、それからビジネス英語コースを取ることになりました。実は、昨年秋に左耳を突発性難聴にやられ、聴力が悪くなっているので心配をしておりましたが、何とかついていくことが出来たのが大きな喜びでした。

ビジネス英語コースに移る前に、一度お休みを取って、約10日間かけて、南島観光を行うことにし、クイーンズタウンやマウントクック、震災後のクライストチャーチをホームステイで一緒に台湾人の学生と周遊バスにのって旅行をしました。非常に素晴らしい観光で、私としては最後にとっておいた価値のある観光であったと感激をいたしました。ビジネス英語は、もともと今までの人生ずっと仕事をしておりましたので、理解しやすく、多くの生徒がビジネスの経験者である事から、自分にじっくりきましたし、先生も経験豊かで、教え方も底辺で素晴らしく、生徒全員が融和して楽しいクラスとなりました。ビジネス英語の最後は、自分自身の架空の会社をつくり、それを20分間英語で発表しなければなりませんでしたが自分にプレッシャーをかけ、また度胸をつけるにも大変良い経験となりました。



ビジネス英語プレゼンテーション



台湾人のクラスメート、ショーンと



マギー先生とタカブナ散策



デイビット先生より卒業証書



気候もよく気持ちよくできたゴルフ



大自然の中での乗馬



オークランド景観

老人の特徴で、朝は早いので、授業は朝9時からですが、平日毎日8時には登校し、宿題のチェック、並びに予習をし、授業が午後3時15分に終わってからも、夕方5時までは復習と宿題をし、6時過ぎにはホームステイ宅に帰るという行程を日課にしておりましたら、回りに色々な人たちが集まりはじめ、仲間が増えていきました。実際はしんどかったですけど！

昼食は、外でサンドイッチや海苔巻き（日本のものとは少し違いますが）が多かったのですが、カレーもたくさんの友人と食べに行き、輪が広がっていきました。また、たまに少し張り込んで、学校の近くの日本人シェフのフランス料理レストランにいきました。こちらは素晴らしくおいしく感激しましたので、また皆を誘い、皆さんに大変喜んでいただけました。このようにしてコミュニケーションを深めていくことが出来ました。

ホームステイ先の方は同年代のご夫婦と20代の息子さんが3人いらっしゃるところでした。息子さんの一人がプロゴルファーを目指しており、ゴルフクラブを貸していただき、3回ゴルフをご一緒させていただきました。この息子さんが66で回られてびっくりしました。バギーカートもあつたのですが、皆と一緒にカートを引っ張り18ホールを歩いてプレーしてみたいと思っていたので、また自分の夢を実現することができました。終わったあとはかなり足腰にきましたが、ホームステイ先の晩ご飯は、主食がお米やジャガイモとなっていましたので、日本人でも生活がしやすいように思われました。メインディッシュは肉類でこれも日本人には食べやすかったのですが、非常に量が多いため、私は皆さんの半分くらいにしてもらってました。

また、一度今までやってみたかった乗馬にも学校の金曜日の放課後のアクティビティーであったので参加してみました。これも大変面白い経験になりました。

67歳にして、自分が温めていた夢が実現できたことは非常に有難く、周りの多くの方が暖かくサポートしていただけた事が大きな要因と考えております。基本的にニュージーランドの気風がおおらかで、優しい国であること、留学生の受入れがしっかりと整っていると思います。初めは、私も若い人たちの中でやっていくことが出来るか不安ではありましたが、“あんずるより生むが安し”で勇気を持って飛び込めば、年齢など関係ないような感じで、みんな優しく楽しく過ごすことが出来たと思っております。

片山 公三 (大阪)

2011年2月～6月の4ヶ月ニュージーランド・オークランド滞在



NZLC オークランド校日本人スタッフコメント

片山さんは、本当に他の学生からも先生からも大変慕われた学生様でした。これも、年齢に関わらず、英語を一生懸命勉強しようという姿勢、異文化を受け入れようとする姿勢が、周りの方にとって大変近寄りやすい存在になったのだと思います。おいしいものを見つけるのがとても上手で、おいしいパン屋さんやカレー屋さんを見つけては、クラスメイトや先生、スタッフと一緒にランチに行かれたりして皆さんと積極的に交流されました。分からないことがあっても、まずは英語で自分なりに努力をされ、それでも疑問に思ったことなどあれば、必ず私のところに来て1つ1つ疑問点を解決されていかれてました。また、片山さんとホームステイ先の方と私もゴルフをご一緒させていただいたのがとても思い出に残ってます。私も片山さんの前向きな姿勢と行動力には本当に感銘を受けました。私も片山さんのように年齢を重ねていきたいです！

日本語は敬語や謙譲語など、年齢や立場によって言葉が変化しますが、英語は、年上の人と話すのも子供と話すのも基本的には同じです。なので英語圏に行くくと年齢の壁が不思議と消えるんです。今まで当校では何十人ものシニアの方の受入れを世界中よりしてきております。最年長の方ではフランス人で72歳の方もいらっしゃいました。海外留学に年齢制限はありません！！何か困ったことがあれば私が日本語でお手伝いできますので安心してお越しください。また、日本語での医療通訳サービスなど色々なサポートも NZLC であれば充実しております。